

### 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と平小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

4月18日（木）に6年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査の各学校の調査結果が配付されました。

本校の「学校教育目標」は、次の4つです。

- ① 元気な子
- ② 考える子
- ③ やさしい子
- ④ がんばる子

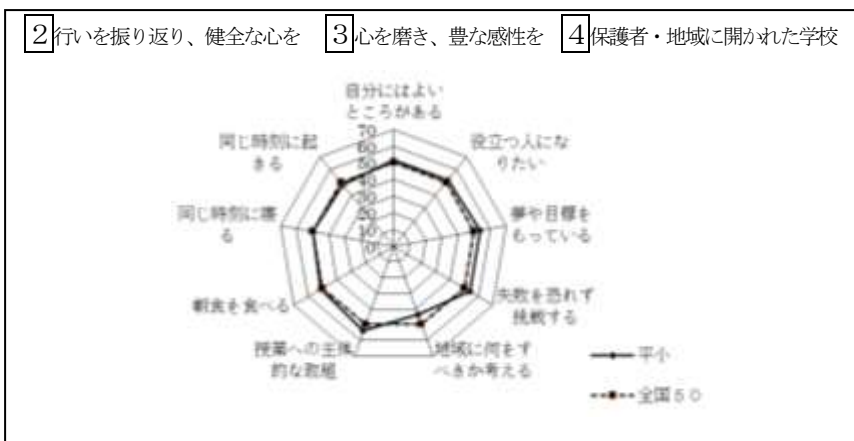
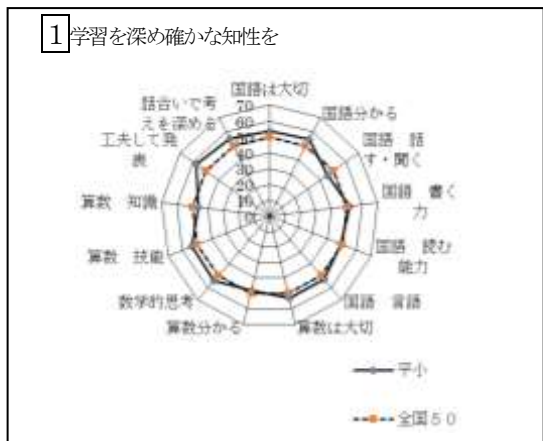
この子供像の実現に向けて4つの経営目標を立てております。

- 1 学習を深め確かな知性を（自学・自習） ⇒ 基礎・基本の充実 学び合い・言語活動の充実
- 2 行いを振り返り、健全な心身を（自主・自律） ⇒ 基本的生活習慣の定着 主体性・自律心の育成 健康・体力の向上
- 3 心を磨き、豊かな感性を（共生・協働） ⇒ 自尊感情と他者を大切にする心の育成  
協力して実行したことの達成感・充実感の積み重ね
- 4 保護者・地域に開かれた学校 ⇒ 保護者や地域の人々から信頼される地域に開かれた学校

本校の「学校教育目標」を踏まえ、今回の調査結果を学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育目標の一側面であることが調査の実施要領に示されております。したがって、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。今後も保護者や地域の方々と児童の課題を共有し、児童一人一人に寄り添った教育活動の推進に努めてまいりたいと考えております。

#### 1 調査結果概要

\* 全国の結果を50とし、全国と本校の差を示したグラフです



#### 2 調査結果をもとにした今後の取組

- 
- 昨年度の目標
- 
- 成果
- 
- 課題
- 
- 分析
- 
- 今後の目標

##### (1) 「1 学習を深め確かな知性を」に関わる調査結果の考察と今後の取組

【昨年度の目標】

授業では子供の学びを深めるための話し合う時間を大切にすることで、基礎・基本の力の充実を図り、「話す・聞く力」が全国平均により近づくことを目指します。

- 国語は大切だ 96.5% (93.0%)
- 国語の授業はよく分かる 89.6% (84.9%)
- 国語 書く能力 56.6% (54.5%)
- 国語 言語についての知識・理解・技能 56.5% (53.5%)
- 算数は大切だ 96.6% (93.7%)
- 算数 数学的な考え方 66.3% (62.2%)
- 算数 技能 77.0% (73.6%)
- 工夫して発表する 70.1% (62.5%)
- 話し合い活動で自分の考えを深める 79.3% (74.1%)

- 話す・聞く能力 67.8% (72.3%)
- 国語 読む能力 81.0% (81.7%)
- 算数の授業はよく分かる 81.6% (83.5%)
- 算数 知識・理解 66.3% (70.1%)

( ) の前の数値は本校 ( ) 内の数値は全国

- 「**国語は大切だ**」「**国語はよく分かる**」などの国語の学習に対する意識は高く、全国平均を上回っております。「楽しく、分かる授業」を目指して、日々の授業改善に取り組んでいる成果と捉えております。
- 国語の「**書く能力**」や「**言語についての知識・理解・技能**」は全国平均を上回っております。国語の時間だけでなく日々の学習の中で、文章を書く機会を増やしたり、朝の「平タイム」で漢字習熟の時間をとったりしていることが成果として表れ始めていますと捉えております。
- 国語の「**話す・聞く能力**」は、全国平均を下回りました。子供たちが自分の考えを話し合ったり、相手の考えを聞き取ったりする力をもっと高めていかなければならないという認識を、昨年度までの校内研究を通して感じました。話し合う時間の確保だけでは、力を十分につけていくことはできませんでした。そこで、今年度より校内研究の教科を国語とし、話したり聞いたりする時の内容の高まりを目指して研究を始めたいと考えております。
- 国語の「**読む能力**」は全国平均を下回りました。授業以外では、図書ボランティアの方や校長・教頭による朝の読み聞かせなどで本にふれる時間を設けておりますが、自分の目的に応じて必要な部分を効果的に読む力に課題があると捉えております。
- 「**算数は大切だ**」と感じている児童は、全国平均を上回っております。日常生活と学習内容との関連づけを意識した授業を実践しているため、算数の必要性や重要性を感じることができていると捉えております。
- 「**算数の授業はよく分かる**」という項目では全国平均よりも低くなりました。算数の「**数学的な考え**」や「**技能**」の観点では全国平均よりは高くなっていますので、「**知識・理解**」の観点が低いことが、この結果に影響した要因の一つと考えています。対話的な学びを通して「知識・理解」を深められるよう授業改善を図ってまいります。
- 「**工夫して発表する**」ことを意識している児童の割合は、全国平均を上回っております。対話的な学びを重視してきたことが、自分の考えをより正確に分かりやすく伝えようとする発表への意識を育てていると考えております。
- 「**話し合い活動で自分の考えを深める**」ことができていると感じている児童の割合が全国平均を上回っております。児童の主体性を育てるための一つの取組として、今後も対話的な学習を重視してまいりたいと考えております。

【今後の目標】

主体的・対話的で深い学びとなる授業改善に努め、「話す・聞く能力」を高め、全国平均に近づくことをめざします。

- (2) **2**行いを振り返り、健全な心を育てるために **3**心を磨き、豊かな感性を **4**保護者・地域に開かれた学校に関わる調査結果の考察と今後の取組

【昨年度の目標】 キャリア在り方生き方教育を今後も推進しながら、意欲的に取り組むことができるように日々の授業改善を継続し、今年度以上に「自分にはよい所がある」と感じる子供が増えることを目指します。

○自分にはよい所がある	82.8% (81.2%)
○人の役に立つ人間になりたい	96.6% (95.2%)
○夢や目標をもっている	87.4% (83.8%)
○失敗を恐れず挑戦する	82.7% (79.0%)
○朝食を食べる	96.5% (95.3%)
○同じ時刻に寝る	81.6% (81.4%)
○授業への主体的な取組	81.6% (77.7%)

●地域のために何をすべきか考える	48.2% (54.5%)
●同じ時刻に起きる	89.7% (91.6%)

( )の前の数値は本校 ( )内の数値は全国

- 「自分にはよい所がある」「人の役に立つ人間になりたい」「夢や目標をもっている」「失敗を恐れず挑戦する」「授業へ主体的に取り組む」と回答した児童の割合は、いずれも全国平均を上回りました。キャリア在り方生き方教育の推進と児童の意欲を掻き立てる授業の工夫などにより、自尊感情が高まり、これらの結果につながってきていると考えております。
- 「朝食を食べる」「同じ時刻に起きる」「同じ時刻に寝る」などの項目ではほぼ全国平均と同様の結果でした。今後も保健の学習や、ご家庭のご協力などを通じて、学校教育目標にもある健康・体力の向上の土台となる基本的な生活習慣を大切にする意識を高めてまいりたいと考えております。
- 「地域のために何をすべきか考える」と答えた児童は、全国平均を下回りました。平小学校では、食育教育や登下校の見守り活動などを通じて、数多く地域の方とふれ合って見守られています。社会にかかわって生きていく意義を考える教育をより進めて行くことで、自らが愛され育った地域・社会に対し何ができるのかを考えるきっかけになると考えております。

【今後の目標】

今後もキャリア在り方生き方教育の一環として、地域人材の活用の仕方を見直し、一層充実改善することで、自分を大切に育ててくれた地域や社会に対する愛情をより深め、「地域社会のために何をすべきか考える」児童が半数を超えることを目指します。

教育委員会から

平小学校では、「お互いの考えを認め合い深める子」を目指し、国語の校内研究を柱として授業改善と授業力向上に努めております。対話的な学びを取り入れてきたことが、工夫して発表しようとする児童の意識の高まりや、話し合いを通じて自分の考えに深まりや広がりを感じている児童の姿として表れているととらえております。